

あの手



この手

4月号
2019



ペテルギウス玄関の
3月21日の生け花

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

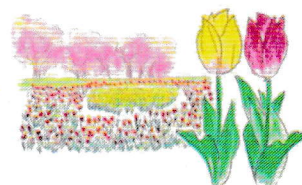
第141号 2019年4月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



<やまと国際アートフェスタ> 作品シリーズその13
今回のテーマは「世界に伝えたい！わたしのブーム」

「いろいろな国」尾田亜美さん(上和田小5年) 韓国
～ふれあい窯陶芸クラブ賞～

「私たちに大切なのは、世界がひとつになることだと思
い、宝箱で一つにしているところを描きました」



大和市民活動センターの2019年度は・・・

◆ペテルギウスに移って1年が経ちました。

「やっと落ち着いてきました。」が正直な感想です。
場所や設備に不慣れなうえに、周りは知らない人ばかり。
まず“挨拶の励行”から始まり、余裕をもって笑顔が
戻ってきた感じがします。

◆更に市民活動ブース(部室)の活用も！

昨年度は全51室が利用され、市民活動の広がりを見
せました。活用方法を色々と考え、設備や装置の改
善も“協働事業”として検討していきます。

◆市民交流スペース(フリースペース)に絵画・写真を！

ペテルギウス入口に“会議室予約状況”が表示されて
いる電子パネルをご存知でしょうか？
今期からは、広いフリースペースに“展示コーナー”
を設けます。作品の展示をしたいと思っている団体、
個人の皆さまのご応募をお待ちしています。展示は無
料です。
この楽しみなコーナーの案内も入り口のパネルに表示
します。

拠点やまと会長 望月 則男

2019年度 市民活動推進補助金に5団体が応募

公開プレゼンテーションにて活動をアピールしました

【めばえ】

「大和市民に英語の楽しさを伝える事業」・・・ Story Time

目的：学校の授業の場以外の様々な場所で英語に触れあい、楽しんでもらう機会を提供することで、英語に対する興味や意欲を子どもから大人までもってもらう。

内容：主に、シリウスや市内の学習センターなどの公共の場で英語の絵本や英語の歌を通して、参加者も一緒に楽しめるイベントを開催する。

【はぐくみ】

「子育て中の親子(外国人を含む)の交流・相談事業」・・・

ファミリーサービスセンターやまと

目的：孤立しがちな乳幼児や小学生の親子の交流やグループワークを通して、子育て中に親子のネットワークが広がり、次世代への循環を生み出していくこと。また、子育てで困難を抱える親、外国と繋がる親への相談・支援を提供する。

内容：1、子育てや発達障がいに関する講演会。2、乳幼児の親向けの子育て連続講座「ノーパディズ パーフェクト」(グループワーク) 3、発達が気になる乳幼児の親子のサロン。4、外国人を含む小学生の交流事業を開催。

【はぐくみ】

「寺社の装飾彫刻・宮彫りを新しい日本の文化財・観光資源としての周知活動事業」・・・ 神奈川探龍倶楽部

目的：大和市の新しい魅力を新しい切り口で発信するために、オリジナルの観光資源として宮彫りを承知させていく。

内容：県や観光協会のHPから大和市の観光提案。

【はぐくみ】

「ホームスタート事業のための人材育成事業」・・・

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア

目的：子育て支援のニーズに合った家族支援をさらに充実させるためのアウトリーチ型の支援を行うにあたっての人材育成。

内容：オーガナイザー(利用者とホームビジターの間に入り、コーディネートを担う人)とホームビジター(利用者家庭に訪問するボランティア)の募集および説明会を開催し、ボランティア対象の研修会を実施する。

【はぐくみ】

「やまと市民スポーツ討論会」・・・

NPO 法人やまとスポーツマネージメント

目的：大和市におけるスポーツ環境の課題を整理・共有し、大和市のスポーツの発展と、スポーツを通じた大和市の発展に寄与するアイデアを発掘する。

内容：大和市のスポーツ環境についての意見・アイデアを整理・共有する「やまとスポーツ討論会」を開催する。

* 5人のアドバイザーから、それぞれの活動に対して適切なアドバイスがあり、「公共性」「計画性」「能力」「継続性」「費用の妥当性」の5つの評価項目に従って評価結果が発表されました。その後、大和市が検討。4月中旬に市民活動推進補助金団体が決定します。補助金を受けての活動が5月から始まります。

第79回 共有セミナー

第2弾！ エベレスト登頂記～健康管理法～ 大好評でした

簡単なヨガストレッチで健康に！

講師：松下 沙織さん

プロの山岳ガイドとして登山技術の向上に貪欲に取り組んでいる姿に感動しました。エベレスト登頂を目前に、ご自身の体調管理にヨガを取り入れて、体と対話をしていたとのこと。ヨガインストラクターとしての存在感が発揮されたのは、講演の後の実践。椅子に座ったままのヨガを伝授していただき、参加者の満足度もアップしました。

今回もお母さまの娘を思う気持ちに心が温かくなりました。お母さま手作りの5穀米のおにぎりに感動した参加者が、「帰りに玄米を買って帰りました」と、報告してくれたのもうれしい出来事でした。

心の健康づくりに音楽を！

演奏：リコーダーアンサンブル メヌエット

はじめに、ソプラノ、アルト、テノール、バスのリコーダーの説明があり、それぞれの音の違いを体験させていただきました。バスのリコーダーの大きさには驚きました。

春にちなんだ曲が演奏され、癒しの時間が流れました。時間の都合で曲目を減らしてしたのに気が付いたスタッフが「アンコール」と声を上げたので、「エーデルワイス」を聴くことができました。

「毎年、リコーダーを吹きながら帰ってくる小学生がいるよね」と、演奏終了後にも話が広がっていたのが印象的でした。

気持ちの健康づくりに「笑いヨガ」を！

講師：内田 哲世さん

「嘘の笑いでも脳が勘違いして、本当に笑っていることと同じ効果がある」と説明を受けていたのですが、笑っている人の顔を見ていると、本当に可笑しくて、心から笑っている自分に気がつきました。笑った後は「やったー、やったー、イエーイ」と一体感に包まれるのです。まさに気持ちが健康になるのを実感しました。

終了後、「笑いヨガ」を習いたいという人が何人もいらっしゃいました。またの機会に「笑いヨガ」の共有セミナーを開催することにします。

「センター」のある日ある時

3月23日(土)雨

「NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる」の福祉車両お披露目会に出席しました。

冷たい雨の中でしたが、日本財団の助成を受け納車された車両を拍手で迎える光景から会員の方々の活動に向ける真摯な思いと情熱が伝わりました。

初試乗された利用者の方の感想を伺ったことで初めて知り得たこともあり良き学びになりました。

今年は創立21年目とのこと、新しい福祉車両を迎えたことで安全と共に一層の発展を願わずにいられません。(辺見)



ボランティア活動で高校生の心を育ててくれた櫻井さん

長年にわたり、ボランティア活動を支援してきた櫻井貞代さんがスタッフを辞めることになりました。高校生のボランティア活動を推奨してこられた柏木学園高等学校短歌書道部の濱谷美代子先生からのメッセージを掲載します。

櫻井さんとの10年

柏木学園高等学校 短歌書道部顧問 濱谷美代子

暑い暑い日だった。額の汗もそのままに、高校生ボランティアについて熱く語る女性。櫻井さんが柏木学園高校を訪ねてくれた日のことは、鮮烈に脳裏に残る。

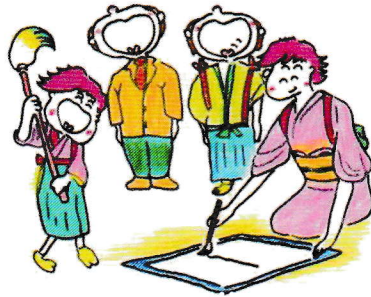
当時、生徒支援部に籍のあった私は、「活動センターからのボランティアを受け入れて余計な仕事が増え、職員に迷惑が掛かるのではないか」という危惧を抱きつつ話を伺い始めた。しかし、口角泡を飛ばす勢いながら、控えめな品格をお持ちの話し振りに惹かれ、話が終わるころにはボランティア導入の気持ちが揺るがぬものになっていた。あの時の気持ちは今も変わらない。それは、この組織の方たちと関わることで生徒の心に筋肉がつくのではないか、という期待でもあった。

常に生徒たちに寄り添い、数えきれないほど多くのボランティアを引率された櫻井さん。櫻井さんは溢れんばかりの笑顔で、来る者を拒まず多くの高校生に接して下さった。櫻井さんを知り、櫻井さんと行動を共にしたことで、高校3年間という限られた時間を、深く内容の濃いものにできた生徒たちは数知れない。彼らはまだ解からないかも知れないが、齢を重ねていくうちに、櫻井さんの有難みが解ってくることだろう。

ここでちょっと思い出話を。どれも櫻井さんの優しさと思慮深さを物語る。まず、なかなか言葉が出なかったM君。ボランティア報告会の会場で、皆の前に出たのは良いけどひと言も喋らない。ただ突っ立っている。会場の人たちは固唾を呑んで彼を見つめる。待つこと5分。漸く彼が重い口を開けた。沈黙の時間を忍耐強く待つことの大切さ。M君を急かさず櫻井さんの優しさには脱帽。この後、M君が滑らかに話し始めたことは推して知るべしだ。



タオルと水筒は必ず持って行くこと。櫻井さんに教えてもらったよ。



書道吟：
漢詩を吟じている側で、毛筆で書をしたためる。

次に、高齢者施設での笑えない笑い話。初めてお年寄りに接するT君。ディサービス先で100歳近い男性に声をかけられた。「どこから来たんだい?」「はい、柏木から来ました。」「あ、そうかい。で、どこから来たんだい?」「はい、柏木から来ました。」「あ、そうかい。で、どこから来たんだい?」これの延々繰り返し。止めに入ろうとした私を横に、櫻井さんの表情には高齢者と生徒に向けた温かい眼差しがあった。私はこの時も、黒子として生徒の動向をじっと見守ることの大切さを学んだ。

最後に、保育ボランティア先でのひとコマ。ボランティアの第一歩がなかなか踏み出せなかったAちゃん。恥ずかしがりやで幼い子に声をかけられず、暫くは入り口でもじもじしていた。すると、5歳くらいの女の子が「お姉ちゃん遊ぶ?」と声をかけ、それを機にAちゃんは、ボランティアの第一歩を踏み出すことができた。この時も櫻井さんは見守りの姿勢を崩されることはなかった。

このように、いつの日もぶれない櫻井さんには学ぶことが多かった。それは私だけではない。活動センターに関わる大人の方も、生徒も然り。私たちは櫻井さんの背中に学び、眼差しに学び、ひと言に学び、表裏一体の優しさと厳しさを教えられた。今、ここに労いの気持ちをこめて、櫻井さんにお礼の気持ちを述べたい。

櫻井さん、有難うございました。

そして、お疲れ様でした。

これからも私たちを見守っててくださいね。

ありがとう！櫻井さん

センタースタッフの面接にいらした時のことを、覚えています。「ボランティアをしたいという人が来たら、ボランティアを受け入れてもいいですか?」と質問したのです。ボランティアセンターで仕事をしている人らしい質問だなど、思ったのが第一印象でした。その後、ボランティアの方たちが何人も「櫻井さんいますか?」と尋ねて来られ、懐かしそうに活動のことや仲間のお話をして帰られるのです。「叔父様たちのアイドルだ」と、微笑ましく拝見していました。櫻井さんは「ボランティアしたい人を施設などに繋げただけなのに、どちらからも感謝されて、いいところ採りなの」と謙遜していましたが、真摯に話を聞いて相応しい活動につなげた結果、皆さん、長くボランティア活動を続けていらっしゃるのだと思います。高校生に寄り添い、頑なな心を開いた生徒もいました。櫻井さんに救われたと思った生徒も多かったと思います。センターを代表して感謝申し上げます。(石川)

「センター」のある日ある時

3月28日(木)くもり

総会スケジュールが続くこの頃です。

中でも、NPO法人さくらの森・親子サポートネット「ワーカーズ・コレクティブ わにわに」の設立総会は印象に残りました。始まる前には、みんなで準備です。会員、サポーターや子どもまで。テーブルには花が飾られ、雰囲気からも地域のみなさん、自治会や多くの関係者で支えられている感じを受けました。また、総会議案書が分かり易く「安心して子育てを楽しめる場所」が読み取れます。

市民運営による認可保育園設立の意義は大きいと思いました。自転車で息を切ったの帰り「あれ?年をとったのは自分だけだった様な…」そんな時に見た看板「70歳代を高齢者と叫ぶ都市」… (望月)





<出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。

第 341 回 3/5(火) 「NPO 法人ペインヘルスケア
ネットワーク」

「痛みの社会問題を解決する」をビジョンに 2017 年に発足した団体で、医師、理学療法士 12 名で構成されています。「痛みの悪循環を断ち切る」というスローガンを掲げ、各種セミナー、イベント、シンポジウムの開催、痛みの運動療法指導、セラピスト育成、研究調査、関連団体との共催事業など活発に活動する中で今後は痛みの研究のため企業との協働も視野に入れて、ネットワークづくりに力を入れているとのこと。

リハビリには従来のリハビリと病気になる前の対策、予防となるものがあり、筋力低下を防ぐトレーニングも効果的だそうです。また、リハビリとは身体の状態を良くするだけでなく環境、心の状態を整え QOL を上げることが大切だと、代表の江原さんが語りました。

「やまとリハビリテーション連絡会」との共催で、3月10日(日) 渋谷学習センターにて「第1回やまとリハビリテーションフォーラム ～リハビリテーション関連職種が地域医療において担えること～」を開催します。

特別講演 11:00～は「病は口ぐせで直る」(蔵前協立診療所所長 原田文植先生) 13:00～は江原さんの健康講座「慢性疼痛の基礎とからだを動かす重要性～肩こり・腰痛になにしていますか?～」14:30～はシンポジウムを開催。またリハビリ体験・無料相談コーナーが設けられ、無料フィジカルチェックやなりきりセラピスト撮影の体験もできます。

第 342 回 3/19(火) 「サークルありんこ」

昭和 56 年度に実施されたジュニアリーダー夏期研修をきっかけに設立され今年で 38 年目を迎える団体で、現在メンバーは 30 名。ジュニアリーダーとは地域の子ども達のお兄さん、お姉さんとして子ども会の季節ごとのイベントや成人式の受付など幅広く活動しています。出演してくれた会長の佐藤唯花さん、副会長の今村翠咲さん、元会長の伊藤 晴さんの 3 名とも小学生の時に行われたジュニアリーダー研修体験会に参加し、そこで活躍する先輩達の姿に憧れて入会したとのこと。

沢山の子どもたちに話し掛けるよう、特に引っ込み思案の子に目を向けて寄り添うよう心掛けたと、語ったのは伊藤さん。まだまだ力が及ばないけれど小さな力でも自分らしく、ありんこらしく頑張っていきたい、とも。

「始動者になって!」と言われ、どうすれば自分から率先して動けるようになるかを念頭に活動するように心掛けている。3 年間で成長したのを実感しつつ、まだ伸びしろがあるはず。始動者として更に成長したいと、抱負を語った今村さん。

佐藤さんは、研修会での自分の体験から独りである子どもに声を掛けること、子供たちより早めに行動する 5 分前活動とメンバーだけで固まらず 分散し協力し合って仕事をこなすことの必要性を学んだと、語りました。これまで会長として人の話を聴く事、持ち前の明るさで人を元気づけることを心掛けてきたけれど会長を退いても皆を支えていくつもりですと、力強く語りました。

<4月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく! (再放送は当日の 15:00 と 21:00 です)

4/2(火) 「神奈川探龍倶楽部」

神奈川県内の寺社の装飾彫り物「宮彫り」のうちの「龍」を中心に研究調査しています。

4/16(火) 「Story Time」

「英語に親しむ街 大和」を目指して英語絵本の読み聞かせなど英語への楽しいアプローチをしています。

4/30(火) 「やまと国際オペラ協会」

やまと国際フィルハーモニー管弦楽団とやまと国際オペラ協会ソリスト合唱団が大和を拠点に発信しています。

★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた★やまとっ☆みつけた★やまとっ☆みつけた★やまとっ☆みつけた

4 71 55 160 51 45 279

何の数字? 我が家になった「甘夏」の数。水俣カドミ災害の風評で出荷できなくなった農家を支援する為、以前購入。種から見事こんな立派な木に成長しました。妻はマーマレード作りの毎日です。(望月)

西洋美術館のル・コルビュジエ展を観に行っただ。上野公園は桜が満開で、外国人観光客が花見をする人の写真を撮っていた。私も上野の桜は初めて。段ボールを使っただのテーブルセッティングにも各グループで工夫がみられ、コルビュジエの帰りで興味深かった。(関根)

今春はコブシと桜が一緒!? コブシが咲けばもうすぐ春と思ったような... ばたばたの 2 月 3 月を過ごして、頭も季節も変になったか。知人の子どもたちの卒園、卒業の連絡が来る。子どもたちにとって良い年度となるよう祈る。(櫻井)



スタッフの
つぶやき



古くからの知り合いの女の子 2 人が 2 か月違いでママになって 6 年、お子さん達はこの春から小学生に。あんなに小さかった赤ちゃんと比べると感慨深い。集団生活には色々なことがあるだろうけれど、安全で安心な場所を見つけて欲しい。未来の蕾で一杯なのだから。(辺見)

いざサイレンが鳴ったら荷物置いて逃げますよと内心ドキドキしながら思っていました。ここからは山頂付近の小屋までの途中に 4 つの滝があり、それを目標に登ります。道中岩がゴロゴロしている所や山がえぐれて崩れている箇所がいくつもありません。続く(吉浜)

数日分の新聞をまとめて読むことがあり。時間に関係なく、記者の熱い思いが伝わってくる記事がある。震災後、人の繋がりのありがたさを実感したという話をあちこちで聞いた。人肌の温もりが感じられる関係がどれだけあるか、その豊かさを実感して暮らしたい。(石川)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 141 号 発行日: 2019 年 4 月 10 日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12 月 29 日～1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788
e-mail: yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyoudounokiyoten.com/